

第4回 新庁舎整備検討委員会 議事録

1 開催日時

令和6年1月29日 午前11時00分から

2 開催場所

三島市役所本館第1会議室

3 出席者の氏名

(1) 委員

池田委員長、石川委員（リモート参加）、石渡委員、前島委員、中村委員、三宅委員（リモート参加）、杉本委員（リモート参加）、足立委員（欠席者：蓼沼副委員長、山田委員）

(2) 事務局職員

（公共財産保全課）

山下部長、田中課長、細木副技監、佐野副参事、大嶽室長、坂本副主任、宮澤技術主査、山下技術主査、渡辺技師、石井

4 会議の公開・非公開

公開

5 傍聴人

6人

6 委員会の内容

(1) 開会

(2) 議題

- 1 議会からの意見
- 2 パブリック・コメントの結果
- 3 今後の進め方について

議題1、2、3をまとめて事務局が説明

<質疑応答>

委員	6地区で説明会をすることだが、こういった内容の説明会となるのか。
事務局	先日、自治会の正副会長が集まる会にて内容の説明を行ったが、主にはアンケート調査を実施することについての説明と、回覧板を使った情報共有についての説明を予定している。

委員	50, 80年先の三島市はどうあるべきか、どのようにしたいか、といったランドデザインを示さないと、市民は候補地を選びにくいのではないかと。候補地選定の判断材料とするため、ランドデザインについてもご検討いただきたい。
委員	6案から2案へ絞った理由を教えてください。
事務局	既存の6案から2案を選んだ訳では無く、候補地ごとに新たに1案ずつ追加の案を作成した。理由としては、北田町なら立体駐車場のコスト、南二日町なら借地など、既存の案でかかっている課題を解消できるよう、新たな案を作成した。
委員	新庁舎の供用開始の目標は令和13年度となっているが、場所の選定に時間がかかっているため、共用開始時期は再考されるのか。
事務局	場所によって、工期が変わる可能性がある。場所が選定された時点で、供用開始時期がもう少しクリアになるのではと考えている。ただし、現状で半年から1年程度の遅れが生じているため、当初の予定通りはいかないと考えている。

4 各候補地の新たな配置計画

について事務局が説明

<質疑応答>

委員	場所選定に苦慮されているのは理解した。まずは三島市としてのランドデザインをしっかりと発信したうえで、配置計画や事業概要を説明していくのが重要かと考える。北田町、南二日町のそれぞれに庁舎があった場合、市民の生活にどのような影響を与えるのか、市街地のモビリティをどのようにしていくのか、三島市としての考えを示したうえで、市民に選んでいただいたほうが良いのではないかと。また、環境やエネルギー、ライフサイクルCO2も求められる時代となっているため、そこも含めた検討も市民へ投げかけることが出来ると、判断しやすくなるのではと考える。庁舎の面積や駐車場規模については異論なく、まとまってきていると思うため、次のステップとして、市民生活をイメージ出来るような、市発信のより良い市庁舎の考え方を示した方が良いのではないかと感じた。
事務局	ライフサイクルCO2については、基本構想に盛り込む予定であるが、具体的な検討については、基本計画で内容を詰めていくことを考えている。
委員	去年実施した三島市のワークショップで市民から環境に対する意見がとて多かつたため、ライフサイクルCO2の数字を出すことよりも、三島市は環境の意識をもって新庁舎事業に取り組んでいることを市民に伝えることが重要であるかと考える。
事務局	ランドデザインについては商工観光課にて作成した、まちなかりノベーション推進計画や観光アクションプランといった、既存の計画があるため、それらと結び付けて、市としてのビジョンをどのように示せるか、検討を進めていきたいと考える。
委員	今ある計画と紐づけると、イメージしやすくなると思うので、ぜひ横断的に検討を進めていただきたい。
委員	10,000人を対象としたアンケートで最終判断をするとのことだが、工夫した内容でアンケートを実施していただきたい。理由としては、交通基盤などへの影響もあるため、必要な内容は盛り込んだうえで、市民が判断しやすい内容にすべきと考える。また駐車場の台数については、市内にはバスも通っていない場所もあり、車でし

	か来れない方もいるため、駐車場台数を減らすのであれば、その辺りの交通基盤の整備の内容もアンケートに盛り込んでいただきたい。また資料では北田町の道路費用が0円となっている。図をみると東側道路からの出入りは出来ず、北側道路からの出入りとなるが、北側道路は狭いため、歩行者対策、道路整備なども配慮した配置計画が必要と考える。
委員	P13に令和47年に人口64,000人になるとあるが、周辺市町との合併についても考慮すべきではないか。
委員	北田町に新庁舎を建てた場合、大社町別館を庁舎として利用する予定はあるか。また社会福祉会館のお客様はおよそ20台/日、市営中央駐車場に車を停めている。240台の駐車場には複合化する社会福祉会館や保健センターの駐車台数の分も含まれているとの認識で良いか。また南二日町の場合、サッカー用の駐車場はこの台数に含まれているのか。また南二日町の借地の交渉状況や、それぞれの工期についても教えていただきたい。最後に市民アンケートを実施するかについて伺いたい。
事務局	大社町別館については、北田町でどうしても収まりきらない場合、活用を検討する必要があると考えるが、現状の計画では大社町別館を庁舎として利用する予定はない。
事務局	240台には庁舎に集約する施設の駐車台数も含まれている。南二日町のグラウンド用の駐車場は別途計上しており、現状、合計290台程度を想定しているため、グラウンド用は50台程度になると思われる。工期については北田町の方が長く、南二日町の方が短くなると想定しているが、整備地が決まり次第、工期についてもお示ししていきたいと考えている。借地の交渉については、この図を公表して良いことまでは地権者から承諾を得ている。場所が決まらなると細かい条件を提示できないため、具体的な交渉については、場所が決まり次第、行うつもりでいる。
事務局	アンケートについては10,000人を対象に北田町か、南二日町かの二択のアンケートを実施することを計画している。アンケート結果を重視して、整備地を選定することを考えている。
委員	アンケートの取り方、聞き方が重要になると思うが、情報提供の公平性や、わかりやすさについて、どのように考えているか。
事務局	アンケートに同封する資料については、先日開催した議員説明会においても同様のご指摘を受けている。ボリューム的に今までの検討結果の全てを送付することは出来ないため、必要な情報を抽出して提供できるよう、検討を進めている。同封資料については、出来次第、本委員会へ提示していきたいと考えているので、今しばらくお待ちいただければと思う。
委員	北田町の計画は施工側からすると、工事ヤードや導線の確保が困難で、かなり難しい、無理のある計画のように思われる。工期についても1棟4～5年とした場合、約10年程度工事中である可能性もあり、その間の市民の不便さが問題点になるのではと考える。一方、南二日町ではもっと短い工期で完成すると思われるので、その辺りをアンケートや説明会で市民へ説明したうえで、理解を得るべきだと考える。
事務局	現在検討中だが、今回の資料にあるような、工程を資料に載せていきたいと考えている。また机上の話とならないよう、地元ゼネコンへのサウンディングを実施し、施工者側の考えも整理していきたいと考えている。

委員	電子申請、DXの進展により、「こういった手続きは来庁しないでも出来る」といった情報も市民へ提供し、判断材料としてはどうか。
委員	まちづくりや、交通、市民生活に関する情報が足りてないと思われる。防災についても、例えば南二日町のマウンドアップ面積を減らしコスト削減するとあるが、それをしても防災拠点として成り立つことや、また北田町は災害時のオープンスペースが不足しているところがあるが、代わりの場所を使うこと、などの情報が不足していると思われる。また北田町の場合、工期が長くなる可能性があるとのことだが、工事中に災害が起きた場合の防災拠点や、工事中の情報セキュリティなど、工期が長くなることのリスクについても、市民への説明が必要と考える。
委員長	これまで出た意見は本委員会の意見として、事務局にお預けする。

5 整備地の選定方法

について事務局が説明

<質疑応答>

委員	アンケートの人数を10,000人とした理由は何か。
事務局	国や市などの通常のアンケートでは、信頼水準を95%に設定しており、2,000～3,000人程度に送付しているが、今回はより信頼性を高めるため、信頼水準を99.7%に設定している。信頼水準99.7%を達成するには回収率なども考慮したうえで、10,000人へ送付が必要となる。
委員	アンケートの内容が北田町か南二日町の2択1問の場合、「近い」などの単純な理由で選ぶ可能性もあるが問題無いか。
事務局	当然それもあると考えるが、今まで検討してきた事業費や利便性、などの情報を総合的にまとめ、市民へお示しし、判断していただくことを考えている。アンケートの同封資料は大変重要になると考えているため、時間をかけて整理、検討を進め、出来次第、委員の皆様へ提示したいと思う。

(3) 閉 会